



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

# しらこぼと

## 2014.12

No.368

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



# 平地でのサシバ観察報告 ～7年間の記録から～

中島 康夫(蓮田市)

## ● はじめに

2008年に始めた平地(田んぼ)でのサシバ観察は今年で7年(観察総日数203日)となりました。この間、暑いなか、当会会員や地元の方々など、多くの方の協力をいただきました。観察人数は常駐者を含め延べ941人(1日平均4.6人)にもなりました。ご協力いただいたことにまず御礼申し上げます。

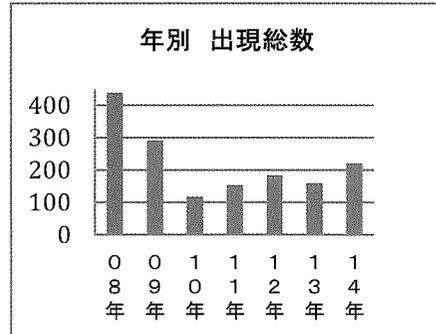
観察地である蓮田市とさいたま市岩槻区付近では、前々から渡りの季節になると相当数のサシバを観察することが多く、気になっておりました。そこで08年に毎日田んぼに座り観察をはじめましたところ、9月前後の1ヶ月で438羽が記録され、多くのサシバの渡りが確認されました。このことから観察を続けることになりました。

観察時期は9月の約1ヵ月、時間は概ね8:30-12:00前後、出現毎に日時・出現数・出現場所・飛翔方向を記録しました。7年分の記録をここにまとめ報告させていただきます。

## ● 7年間の記録から

### <出現数>

年別の出現数は08年438羽、09年291羽、10年117羽、11年153羽、12年184羽、13年159羽、14年221羽で、7年の総数は1,563



羽(年平均223羽)となりました。

また各年の観察日1日平均は次の通りです。

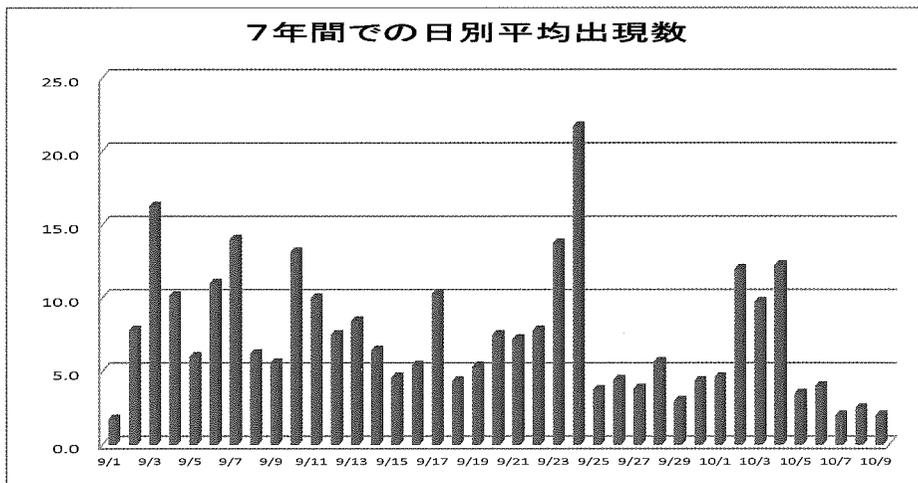
### 1日平均出現数

08年	17.5
09年	11.2
10年	3.8
11年	4.6
12年	6.3
13年	6.1
14年	6.7

加重平均

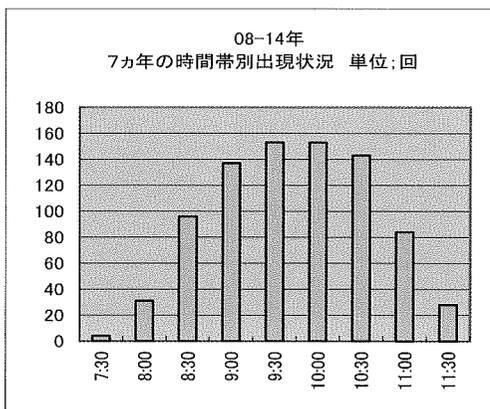
7.7

年ごとの出現数あるいは日ごと(下のグラフ)の出現数の変化は、気象など自然環境の変化が想定されますが、原因は不明です。



### <出現時間>

7:30	4羽	0.5%
8:00	31羽	3.7%
8:30	96羽	11.6%
9:00	137羽	16.5%
9:30	153羽	18.5%
10:00	153羽	18.5%
10:30	143羽	17.2%
11:00	84羽	10.1%
11:30	28羽	3.4%
計	829羽	100%



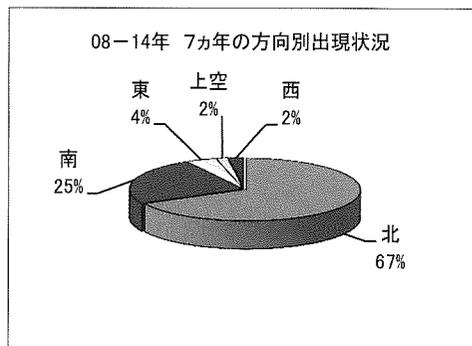
ここでの特徴は、多くのサシバは10時前後に付近の林から上昇し、渡っていることです。言い換えれば、付近の林で一晩休み、上昇気流が昇る時間帯に渡っていることです。

### <出現方向>

右上グラフで見る通りその出現方向は北方向が圧倒的に多い。その理由は繁殖地である東北地方と関東北部が、そして渡りの途中休むと思われる黒浜沼周辺の雑木林や屋敷林が

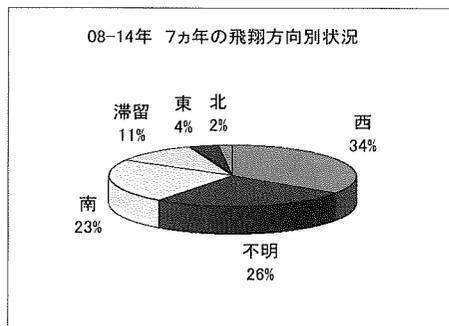


観察地から見て北方向にあるからと思われる。



### <飛翔方向>

下記グラフで見る通りその飛翔方向は渡りの方向である西方向そして南方向で57%と多いのは頷けるが、不明26%と多いのは、高い位置を飛んだ時や、曇り空で不明になったものです。また滞留は気流に乗り切れず、飛翔の機会を伺っているものと思われます。



### ● おわりに

観察地近くには新たなサービスエリア建設が始まり、更に道路の拡幅工事も予定されているようで、その環境変化は避けられず、観察地として適さない状況に至るようです。

また観察時期が残暑厳しく、日影がない炎天下での観察は、健康に配慮せざるを得なくなっております。

当地での観察は継続をしたいのですが、上記のことから今までのような観察方法では難しくなりそうなこともあり、このたび区切りとして報告をさせていただきました。

なお7年間の常駐観察は、赤坂忠一、田中幸男、玉井正晴、中島康夫の4名で行ないました。

# 2014年 秋 シギ・チドリ類調査報告

日本野鳥の会埼玉 研究部

日 時：2014年9月15日 9:35～11:30  
場 所：さいたま市 大久保農耕地  
天 候：曇り

本州付近は、三陸沖に中心を持つ高気圧に覆われていましたが、関東地方には湿った空気が流れ込んでおり、曇りでした。また、連休中でしたが17名の協力が得られました。ありがとうございました。

あちこちの田で稲刈りをしている中、今年A'区(治水橋上流)でムナグロが17羽確認されました。ムナグロが観察されたのは、2009年以来5年ぶりです。

今年も稲刈りが終わったほとんどの田は乾いていましたが、所々湿った田でタシギなどが観察されました。特にB区では16羽のタシギが確認されました。

下の表は過去10年間の調査結果をまとめたものです。それ以前は『しらこぼと』2012年12月号(No.344)をご覧ください。

※表の中の「タシギ属不明種」、「シギ科不明種」は、種数には入れませんでした。

(石井 智)



## 秋のカウント結果 (大久保農耕地)

年	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
調 査 日	9/19	9/18	9/17	9/15	9/21	9/20	9/19	9/17	9/23	9/15
天 候	晴れ	雨・曇り	晴れ	曇り	曇り	曇り	晴れ	晴れ・曇り	曇り	曇り
1 タマシギ			2							
2 ムナグロ		13	8	70	8					17
3 アオアシギ		5								
4 クサシギ			3							
5 タカブシギ	6	1	7							
6 イソシギ				1						
7 オグロシギ									1	
8 タシギ	60	23	15	4	9	5	7		21	23
9 オオジシギ			2							
タシギ属不明種		2	2			1			7	4
シギ科不明種	1		1							
合 計	67	44	40	75	17	6	7	0	29	44



## 野鳥情報

**さいたま市見沼区加田屋** ◇9月4日、オオタカ1羽。サシバ1羽、カラス数羽につきまとわれながら飛ぶ。9月10日、キジ、短く「ココッ」と鳴く。農耕地にダイサギ、チュウサギ。加田屋川には繁殖羽へ換羽中のマガモ♂1羽、今季初認。9月24日、加田屋川にコガモ10羽。タシギ1羽が飛んで川辺の草むらに飛びこむ。農耕地にチュウサギ1羽+ (小林みどり)。

**さいたま市見沼区染谷** ◇9月4日、シジュウカラやメジロの群れにセンダイムシクイ3羽+。10月8日、アカゲラ♀1羽、ヤマガラ5羽+、コサメビタキ1羽 (小林みどり)。

**さいたま市緑区新宿～大道** ◇9月20日、芝川にコガモ5羽、今季初認。代用水西縁沿いの桜並木にツツドリ1羽、エゾビタキ1羽、他にシジュウカラ、メジロ、コゲラの混群が飛びまわる (小林みどり)。

**さいたま市岩槻区本丸** ◇毎日朝、5時すぎ頃から自宅の上空を、西から東へ、サギがえさ場に向かって飛んでいく。一体どのくらいいるんだろうと毎日朝5時から6時まで数を数えてみた。9月22日 170羽、23日 202羽、24日 242羽、25日 93羽、26日 235羽、27日 99羽、28日 164羽、29日 153羽という結果でした。25日の93羽は家の東側を通ったため見逃したのではないかと思います。当日の天気、温度、雲の状況、風の方向、強さにより飛ぶ方向が変わります。自宅ですでできる楽しいサギの調査。冬はどうなるのだろうか。10月3日、夜9時過ぎに、「ホウホウ、ホウホウ」という鳥の声。アオバズクがいるの？ まさか？ 外に出てみると、近所のテレビアンテナに何とアオバズク。こんな住宅街の中に、まして10月にアオバズクがいるなんて。本当にビックリしました。ちなみに今日のさいたま市の最高気温は31.7度でした (内田克二)。

**さいたま市緑区見沼自然公園** ◇9月24日、コサメビタキ1羽、キビタキ♀1羽+、オ

オルリ♀1羽+。9月28日、コサメビタキ1羽+、キビタキ♂1羽+、♀2～3羽、オオルリ♀2羽+。10月2日、池にオナガガモ♀1羽、今季初認。ツツドリ赤色型と思われるカッコウ科の鳥1羽。ハイタカ1羽。キビタキ♂1～2羽、♀2羽+、オオルリ♀1羽 (小林みどり)。

**川島町三ツ又沼ビオトープ** ◇9月27日、ノスリ2羽、ノスリかハチクマか判定できなかったタカ1羽、サシバのようだが判定できなかったタカ2羽。カッコウ科不明種1羽+ (小林みどり)。

**蓮田市馬込** ◇9月28日午前8時、カケス、今季初認。10月2日午前8時30分、ツミ、夏に姿が見えなくなったと思っていたら、戻ってきた。どこに行っていたのだろう。10月7日午前6時30分、ダイサギ、セグロセキレイ、メジロ。オオタカがカラス10羽位とバトル。10月18日、綾瀬川と周辺の田んぼでモズ♂♀多い、ハクセキレイ、イソシギ3羽、アオサギ3羽、ツグミ多い、ジョウビタキ♀ (今季初認)、カケス多い、アカゲラのドラミング。キチョウやツマグロヒョウモンが多かった (本多己秀・久文子)。

**吉見町八丁湖公園** ◇9月30日午前9時過ぎ、アカゲラ♀1羽を見る。別個体の声もあちこちで聞こえたので、数はけっこういるようだ。低い枝先にキビタキ♀1羽。林の梢の隙間から覗く狭い空を1羽のサシバが飛んでいた (榎本秀和・みち子)。

**さいたま市見沼区七里総合公園** ◇9月30日、コジュケイの声、カケスの声。湿地周辺の桜並木などにカッコウ科の鳥が4～5羽。群れで行動しているのではなく、それぞれが単独行動のようだ。このうち2羽は、体の大きさや虹彩の色、下面の縞の様子などからツツドリであると判断した (小林みどり)。

### 表紙の写真

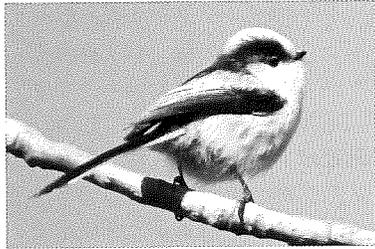
#### カモ目カモ科マガモ属ヒドリガモ

2014年10月27日、ふじみ野市新河岸川。

ブリングマン ウイリアム(ふじみ野市)



## 行事案内



エナガ

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。集合時間に集合場所にお出かけください。

初めての方は、青い腕章の担当者に「初めて参加します」と声をおかけください。参加者名簿に住所・氏名を記入、参加費を支払い、鳥のチェックリストを受け取ってください。鳥が見えたらリーダーたちが望遠鏡で見せてくれます。体調を整えてご参加ください。

**参加費**：就学前の子無料、会員と小中学生50円、一般100円。

**持ち物**：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば、双眼鏡などの観察用具もご用意ください。なくても大丈夫です。

**解散時刻**：特に記載のない場合正午から午後1時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

### 所沢市・狭山湖探鳥会

期日：12月6日(土)

集合：午前9時30分、西武狭山湖線西武球場前駅前。

担当：石光、久保田、小林(ま)、鈴木(秀)、長谷部、水谷、持丸

見どころ：年々減少気味とはいえ、カンムリカイツブリの群像は圧巻です。ここ数年ハジロ…が増えていきます。過去にはミミ…やアカエリ…も出ました。カイツブリ類の聖地はこの冬も皆さんを待っています。

駐車場、念仏橋バス停前。

交通：JR浦和駅東口②番バス乗り場から、東川口駅北口行き8:37発で「念仏橋」下車。

後援：浦和くらしの博物館民家園

担当：伊藤、赤堀、大井、須崎、手塚、野口(修)、藤田

見どころ：冬鳥の季節の幕開けです。たくさんのカモたちや猛禽を期待して、第一調節池の周りを巡ります。今年は寒さが厳しそうですね。暖かい服装でお越しください。

ご注意：コース途中でトイレは、ありません。

また天候によっては、コースを変更します。

### 北本市・石戸宿定例探鳥会

期日：12月7日(日)

集合：午前9時、北本自然観察公園駐車場。

交通：JR高崎線北本駅西口から、北里メディカルセンター病院行きバス8:36発で「自然観察公園前」下車。

担当：吉原(俊)、相原(友)、秋葉、浅見(徹)、大坂、岡安、柴田、立岩、飛田、内藤、永野、村上、山野、吉原(早)

見どころ：楽しい季節がやってきました。アオジ、カシラダカ、ジョウビタキ、ルリビタキそしてアカゲラにアオゲラ。皆来てくれたかな？いつものカワセミやコゲラも待っています。そうそう、ノスリもね。

### 加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：12月7日(日)

集合：午前8時40分、東武伊勢崎線花崎駅南口階段下。集合後徒歩で現地へ。または午前9時、加須はなさき公園駐車場。

交通：東武伊勢崎線春日部8:14→久喜8:27→花崎8:34。JR宇都宮線大宮7:53→久喜8:15で東武伊勢崎線乗り換え。

共催：加須はなさき公園管理事務所

担当：長嶋、相原(修)、石川、植平、菊川、竹山、星野、茂木、渡邊

見どころ：アオジやジョウビタキ、シロハラなどの冬鳥は、それぞれの居場所で羽を休めていることでしょうか。ヒドリガモは換羽がすんで綺麗な姿に変身していることでしょうか。そんな公園の中の身近な鳥を楽しみましょう。トイレは途中3ヶ所あります。

### さいたま市・民家園周辺定例探鳥会

期日：12月7日(日)

集合：午前9時、浦和くらしの博物館民家園

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：12月14日（日）

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷9:09発、または寄居8:50発に乗車。

担当：茂木、新井、鶴飼、倉崎、田島、千島、飛田、中川、村上

見どころ：すでに季節は冬に入り、鳥たちはどんな衣装、姿でわたしたちを出迎えてくれるでしょうか。気候に合わせて赤い色なら、とても良いのですが……。大麻生の鳥たちに年末の出会いを期待します。

## さいたま市・岩槻文化公園探鳥会

期日：12月14日（日）

集合：午前8時35分、岩槻駅前。または、午前9時10分、文化公園国道16号側駐車場。

交通：東武アーバンパーク線大宮8:19発、または春日部8:17発で岩槻下車。集合後バスで現地へ。

担当：長野、石川、内田、榎本(建)、菊川、小林(善)、鈴木(誠)、鈴木(庸)、玉井、長嶋、野村(弘)、藤原、吉安

見どころ：公園付近の林、アシ原、水辺で、冬鳥を探します。昨年12月にはルリビタキやカワセミなど33種を確認しました。久々に赤い鳥は見えるでしょうか。初心者も大歓迎です。

## 加須市・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：12月17日（水）平日

集合：午前8時10分、東武日光線柳生駅前。または午前8時30分、中央エントランス駐車場。

交通：東武日光線新越谷7:22発、南栗橋7:52で新栃木行きに乗換え柳生8:06着。またはJR宇都宮線大宮7:26→栗橋7:54着で7:57発の東武日光線に乗り換え。

解散：正午ころ、谷中村史跡ゾーン広場。

担当：玉井、大坂、植平、楠見、田中、藤澤  
見どころ：渡良瀬のベストシーズンが始まります。谷中湖に多数のカイツブリやカモの群れ、浮島やアシ原の上を飛ぶチュウヒ、

やぶの中のベニマシコやオオジュリン等の小鳥たちと、多彩な鳥を静かな平日にゆっくりと満喫しましょう。

## 滑川町・武蔵丘陵森林公園探鳥会

期日：12月20日（土）

集合：午前9時20分、森林公園南入口前

交通：東武東上線・森林公園駅下車、北口から立正大学行きバス9:02発で「滑川中学校」下車。ひとつ手前の「森林公園南口入口」は通過してください。

費用：参加費以外に入園料410円（子供80円）、65歳以上210円（要年齢を証明できるもの）。

担当：中村(豊)、大坂、岡安、佐久間、鈴木(秀)、内藤、藤掛、藤澤、松下

見どころ：この冬は鳥たちとのどんな出会いがあるのでしょうか。カラ類の混群が行き過ぎるのを待っていると、キツツキも姿を見せてくれそう。アカかな？ アオかな？ ルリビタキは耳を澄まして探しましょう。ビンズイもアオジも見たいし、カモたちもたくさん来ていることを祈りましょう。陽だまりの雑木林を歩きます。

## 『しらこぼと』袋づめの会

とき：12月20日（土）午後3時～4時ころ

会場：会事務局108号室

## さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：12月21日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口。集合後路線バスで現地へ（案内人は8時過ぎに北浦和駅東口到着予定です）。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：浅見(徹)、青木、赤堀、石塚、楠見、小菅、小林(み)、柴野、須崎、新部、畠山、増田

見どころ：政令指定都市のど真ん中に位置する「見沼田んぼ」。晴れたら、新都心の高層ビル群の向こうに丹沢山系～富士山～秩父連山が望めます。身近に残された自然の中で、小鳥や水鳥を探します。昨年の12月は、40種類も確認できました。今年もミヤマガラスに会えるかな？

## 年末講演会

日時：12月23日（火・祝）午後1時開場

会場：JR浦和駅東口前PARCOの9階、浦和コミュニティセンター第15集会室。

プログラム：第1部 13:30 14:45 会員たちの『映像で振り返るこの1年』他。

第2部 15:00～16:30 講演 大谷力氏 仮題『海外探鳥の楽しみ方』。

第3部 17:15～19:30 懇親会（ワシントンホテル内の会場に移動します）

参加費：100円（懇親会は4,500円の予定）

見どころ&聞きどころ：バードガイドの大谷力氏は、10歳で本格的にバードウォッチングをはじめ、世界中を飛び回って観察した鳥はすでに約6千種。写真による海外の野鳥の紹介や、探鳥地における環境変化、海外バードウォッチングの醍醐味などをお話していただきます。

※ 第1部の映像・画像を募集中。ビデオは3～5分程度、静止画は10枚以内にまとめ、パソコンで再生できるメモリでご用意ください。映像・画像、懇親会の申込みは、事前に葉書またはメールで 長野誠治

まで。

## 幸手市・宇和田公園探鳥会

期日：12月28日（日）

集合：午前9時15分、宇和田公園駐車場。

交通：東武伊勢崎線東武動物公園駅東口から境車庫行きバス8:45発で「上宇和田」下車。北方向に徒歩約5分。

担当：佐野、植平、佐藤、竹山、田邊、村上

見どころ：今年最後の探鳥会です。一年の締めくくりに、ジョウビタキやツグミなど、お馴染みの冬鳥たちをゆつくりと観察しましょう。もちろん猛禽やシラコバトにも期待です。

## さいたま市・さぎ山記念公園探鳥会

期日：1月4日（日）

集合：午前10時10分、さぎ山記念公園入口。

交通：大宮駅東口⑦番バス乗り場9:38発「浦

和学院高校」行き、または東浦和駅③番バス乗り場9:48発「さいたま東営業所」行きで、「さぎ山記念公園」下車。駐車場はありますが、もちろん飲酒運転厳禁です。担当：海老原、浅見（徹）、宇野澤、楠見、工藤、小林（み）、新部

見どころ：新年の挨拶を交わして初探鳥会。昼ごろからはいつもの野外懇親会を予定。酒類、食べ物ご持参歓迎。敷物も各自ご用意ください。飲みすぎに注意しながら、短い時間を楽しく過ごしましょう。

## 千葉県・銚子漁港探鳥会（要予約）

期日：1月31日（土）

集合：午前6時45分、JR大宮駅西口鐘塚公園。

解散：午後7時30分、東武春日部駅東口。

交通：往復貸切バス（大型）を利用。

担当：入山、植平、小林（み）、佐野、長野  
費用：8,500円（バス代、昼食代、保険料等）。

過不足の場合は当日清算。

定員：35名（会員優先。応募者多数の場合、先着順）。最少催行人数25名。

申し込み：往復はがきに住所、氏名、年齢、生年月日（保険加入に必要）、電話番号を明記して入山博（

）まで。12月1日消印より有効。

見どころ：カモメはダメという人でも大丈夫！ワーワー言いながら、図鑑片手に、参加者全員で識別の勉強をしましょう。昼食に時間をかけて、地魚を食べながらゆつくり時間を過ごします。昼食会場から、カモメがよく見えます。追加の料理やお酒は各自ご負担願います。

その他：雨天決行。防寒対策をしっかりと。

## カラスの集団ねぐら調査

『しらこぼと』No.360（2014年4月号）で報告した、「大宮氷川神社 カラスの集団ねぐら調査」を、この冬も実施します。今のところ、詳細は未定ですが、年内実施の予定です。HPでお知らせしますので、ご参加ください。

## 2015年1月～4月の行事予定

探鳥計画を立てるのにご利用ください。ただし、これらは「予定」であって、変更されることがあります。確定情報は、その月の『しらこぼと』行事案内欄でご確認ください。

月	日	曜日	探鳥地
1	4	日	さいたま市 さぎ山記念公園
	10	土	戸田市 彩湖
	11	日	松伏町 まつぶし緑の丘公園
	11	日	千葉県 ふなばし三番瀬海浜公園
	11	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	12	月祝	滑川町 武蔵丘陵森林公園
	12	月祝	春日部市 内牧公園
	17	土	深谷市 仙元山公園
	18	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	18	日	加須市 渡良瀬遊水地
	24	土	久喜市 久喜菖蒲公園
	25	日	狭山市 入間川 [定例]
	25	日	蓮田市 黒浜沼
	25	日	長瀨町 長瀨
	29	木	羽生市 羽生水郷公園 (平日)
	31	土	嵐山町 菅谷館都幾川
	31	土	狭山市 智光山公園
31	土	千葉県 銚子漁港 (要予約)	
2	1	日	さいたま市 民家園周辺 [定例]
	1	日	北本市 石戸宿 [定例]
	5	木	戸田市 彩湖 (平日)
	8	日	熊谷市 大麻生 [定例]
	8	日	所沢市 狭山湖
	11	水祝	さいたま市 大宮市民の森
	14	土	上尾市 丸山公園
	14	土	滑川町 武蔵丘陵森林公園
	14	土	さいたま市 岩槻文化公園
	15	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	15	日	本庄市 坂東大橋
	15	日	志木市 柳瀬川
	22	日	東松山市 物見山
22	日	群馬県 小根山森林公園	
3	1	日	蓮田市 黒浜沼
	1	日	寄居町 玉淀河原
	8	日	熊谷市 大麻生 [定例]

月	日	曜日	探鳥地
3	8	日	加須市 加須はなさき公園
	14	土	さいたま市 見沼自然公園
	15	日	さいたま市 三室地区 [定例]
	15	日	松伏町 松伏記念公園
	21	土祝	坂戸市 高麗川
	22	日	栃木県 日光東照宮裏山
	22	日	狭山市 入間川 [定例]
	29	日	行田市 さきたま古墳公園
	29	日	加須市 渡良瀬遊水地
	4	5	日
5		日	さいたま市 民家園周辺 [定例]
12		日	熊谷市 大麻生 [定例]
12		日	所沢市 狭山湖
12		日	長瀨町 宝登山
18		土	千葉県 ふなばし三番瀬海浜公園
19		日	さいたま市 三室地区 [定例]
19		日	春日部市 内牧公園
26		日	さいたま市 秋ヶ瀬公園
29		水祝	東松山市 物見山
29	水祝	さいたま市 (シギ・チドリ類調査)	
5	5	火祝	茨城県 浮島 (要予約)
	8～10	金～日	東京都 三宅島 (要予約)
	30～31	土～日	長野県 戸隠高原 (要予約)

## 1月～4月「あの鳥は、どこで」予報

2009年～2013年の探鳥会で見られた野鳥をデータベース化して分析しました。出現鳥は142種(県外含めて187種)。見たい鳥は、県内のどこに現れる可能性が高いのか、いくつか例を示します。確率の話ですから外れても責めないでください。

- トモエガモ (渡良瀬遊水地、久喜菖蒲公園)
- ホオジロガモ (彩湖、狭山湖)
- ミコアイサ (渡良瀬遊水地、坂東大橋)
- タゲリ (渡良瀬遊水地)
- アリスイ (石戸宿、黒浜沼、彩湖)
- ミヤマガラス (久喜菖蒲公園、大宮市民の森)
- レンジャク (大麻生、石戸宿)
- トラツグミ (仙元山公園、菅谷館都幾川)
- ルリビタキ (武蔵丘陵森林公園)
- ベニマシコ (渡良瀬遊水地、大麻生、黒浜沼)
- ミヤマホオジロ (大麻生、武蔵丘陵森林公園)



## 行事報告

5月24日(土) 加須市 加須はなさき公園

参加：29名 天気：晴

キジ カルガモ キジバト カワウ ゴイサギ  
アオサギ ダイサギ チュウサギ コチドリ カ  
ワセミ コゲラ チョウゲンボウ オナガ ハシ  
ボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒ  
バリ ツバメ ヒヨドリ オオヨシキリ ムクド  
リ スズメ ハクセキレイ カワラヒワ ホオジ  
ロ (25種) 始まってすぐに、鉄塔のカワウ、番い  
で飛び回る賑やかなムクドリを観察。早苗が綺麗  
な田圃でチュウサギとダイサギの繁殖羽を比較観  
察。植物園ではカワセミが鳴き、コゲラが楽しま  
せてくれた。葦原に出ると、オオヨシキリがあち  
こちで鳴いている。遠くをチョウゲンボウが飛ん  
だ。誰かがコチドリの声を聞いた。通行止めの道  
路で造巢中の様だ。全員で観察した。(長嶋宏之)

5月24～25日(土～日) 長野県 戸隠高原

参加：23名 天気：24=晴、25=曇時々晴

キジ オシドリ カルガモ カイツブリ キジバ  
ト アオサギ ホトトギス ツツドリ カッコウ  
ハチクマ トビ ノスリ コゲラ オオアカゲラ  
アカゲラ サンショウクイ モズ ハシボソガ  
ラス ハシブトガラス キクイタダキ コガラ ヤ  
マガラ ヒガラ シジュウカラ ツバメ ヒヨド  
リ ウグイス エナガ メジロ ゴジュウカラ  
キバシリ ミソサザイ クロツグミ アカハラ  
コルリ コサメビタキ キビタキ オオルリ ニ  
ュウナイスズメ スズメ キセキレイ カワラヒ  
ワ イカル ホオジロ ノジコ アオジ クロジ  
(47種) 好天に恵まれ、みどりが池周辺でノジコ、  
アオジ、キバシリと幸先の良いスタート。鏡池ま  
でのコースでも鳥の姿が多く楽しめた。鏡池では  
オシドリを観察し、昼食と記念撮影。午後は鳥の  
声も少なくなったが、オオアカゲラの巣立ちに立  
ち会うことができた。探鳥後は近くの温泉に出か  
けたが、入浴後、早くも生ビールの人も。翌日の  
早朝探鳥会ではクロツグミやアカハラ、ミソサザ  
イの囀る姿を堪能できた。朝食後、声を頼りにコ

ルリとクロジの姿を探し、クロジの姿をようやく  
見る事ができた。鳥の種類は若干少なかったが、  
姿を全員でじっくり観察できた(観察種は宝光社  
近辺も含む)。(菱沼一充)

5月25日(日) 狭山市 入間川

参加：37名 天気：晴

キジ マガモ カルガモ カイツブリ キジバト  
カワウ ササゴイ アオサギ ダイサギ コサギ  
ヒメアマツバメ イカルチドリ コチドリ コゲ  
ラ モズ オナガ ハシボソガラス ハシブトガ  
ラス ヤマガラ シジュウカラ ツバメ イワツ  
バメ ヒヨドリ メジロ オオヨシキリ ムクド  
リ キビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセ  
キレイ カワラヒワ ホオジロ (32種) (番外：ド  
バト) 集合場所の狭山市駅西口にヒメアマツバメ  
がやって来た。建物の隙間に入るの、営巢して  
いるのかもしれない。入間川は河川工事中で鳥が  
少なめだったが、ササゴイがやって来て皆を楽し  
ませてくれた。最後の稲荷山公園で、キビタキの  
姿を一部の人が見る事ができた。(長谷部謙二)

6月1日(日) 北本市 石戸宿

参加：28名 天気：快晴

キジ カルガモ カイツブリ キジバト アオサ  
ギ バン トビ カワセミ コゲラ ハシボソガ  
ラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ  
ツバメ ヒヨドリ ウグイス メジロ オオヨシ  
キリ スズメ カワラヒワ ホオジロ (21種) (番  
外：ガビチョウ) 出だしは気持ちの良い初夏の朝。  
途中から気温がぐんぐん上がり、真夏のように。  
木陰を縫ってのバードリスニング中心の探鳥会。  
子供連れのカルガモ×2家族が現れ、参加者の微  
笑みを誘った。当日早朝の下見で確認していたホ  
トトギスの声が聴けず、残念。(浅見 徹)

6月1日(日) さいたま市 民家園周辺

参加：36名 天気：晴

キジ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ  
ゴイサギ アオサギ コサギ オオバン カワセ  
ミ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シ  
ジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ オオヨ  
シキリ ムクドリ スズメ カワラヒワ ホオジ  
ロ (22種) (番外：ドバト) 真夏を思わせるような  
暑さ。日陰を求めながらの探鳥。桑の実が熟し、

新録の調節池でカワウが繁殖していた。軽やかにホオジロやオオヨシキリが歌い、ツバメの幼鳥が飛び、繁殖の夏真っ盛り。暑さの中、参加して下さった皆様には感謝致します。(手塚正義)

6月1日(日) 坂戸市 高麗川

参加: 23名 天気: 晴

コジュケイ キジ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ホトトギス イカルチドリ オオタカ カワセミ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ヒヨドリ ウグイス メジロ オオヨシキリ ムクドリ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ ホオジロ (29種) (番外: ドバト、ガビチョウ) 暑い探鳥会となった。過去2年、確認できなかったホトトギスの声を聞くことができ、ほっとする。ホオジロが所々でさえぎっていた。イカルチドリが、盛んに鳴きながら飛翔、営巣でもしていたのか。探鳥会開始前の早朝に確認されたアオバトは、残念ながら探鳥会では姿を見せなかった。(山口芳邦)

6月8日(日) 熊谷市 大麻生

雨のため中止。(千島康幸)

6月12日(木) 羽生市 羽生水郷公園

参加: 14名 天気: 雨

カルガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、コチドリ、コアジサシ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ツバメ、オオヨシキリ、ムクドリ、スズメ、カワラヒワ (16種) 生憎の雨、悪天候にも負けずヒバリが元気よく飛び、オオヨシキリも大声で鳴いている。ツバメのヒナが道路に出ている周囲を親が心配そうに飛び回り、コアジサシのヒナに親がエサを運ぶ、その傍にはコチドリも佇む。若鳥を主体としたムクドリの大群に見送られながら早めに切り上げた。(相原修一)

6月15日(日) さいたま市 三室地区

参加: 36名 天気: 晴

キジ カルガモ キジバト コチドリ カワセミ コゲラ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ メジロ ムクドリ スズメ カワラヒワ ホオジロ (18種) 強い太陽が照り付け、気温は急上昇。

日影を求めて休み休みのノンビリ探鳥となった。田植えに集まっていた“見沼田んぼ市民ネット”の仲間たちと挨拶を交わし、雑木林～畑～芝川を巡る。巣立って間もないツバメの幼鳥たちの集団行動が可愛らしい。キジの番や、お目当てのコチドリも出て、まずまずの探鳥会。(浅見 徹)

6月21日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 11名

宇野澤晃、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、柴野耕一郎、志村佐治、藤掛保司、増尾隆、松村禎夫、茂木幸蔵

7月6日(日) 群馬県板倉町 渡良瀬遊水地

参加: 62名 天気: 晴時々曇

コジュケイ キジ カルガモ カイツブリ キジバト カワウ ヨシゴイ ササゴイ アオサギ カッコウ トビ ツミ ノスリ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ ウグイス オオセッカ オオヨシキリ コヨシキリ セッカ ムクドリ スズメ カワラヒワ ホオジロ (30種) (番外: ドバト) 北水門ではお目当てのササゴイがお出迎え。水辺の木の中に潜んでいるのを全員で観察。アシ原に出ると今度は小鳥が主役となり、ウグイス、コヨシキリ、セッカ、そしてオオセッカのさえずりも聞こえてくる。帰路ではカッコウが鳴きながら追い越していった。(佐野和宏)

7月13日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 33名 天気: 曇

カイツブリ キジバト カワウ アオサギ ホトトギス カワセミ コゲラ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ツバメ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ スズメ カワラヒワ ホオジロ (18種) (番外: ガビチョウ) 日射しが無いので助かった。それにしても鳥が少ない。電線に止まるツバメの幼鳥4羽、樹上で囀るホオジロ1羽、草の種をついばむカワラヒワ1羽、見つけるたびに貴重な1種とみんなに声を掛けて観察するありさま。それでも、水場でカイツブリの親子が見られ、チラッとだがカワセミが飛んでくれたのが収穫。ホトトギスの声も聞こえ、鳥合わせの前には全身を震わせて囀るウグイスを全員で観察して、何とか格好がついた。(新井 巖)



●「会員を増やすための探鳥会」と「お試し入会制度」

「会員を増やすための探鳥会」として、(公財)日本野鳥の会(本部)普及室と共催で、関東近県の各連携団体と一緒に、「初心者向けバードウォッチング・イベント」の準備を進めています。これは、会員の皆様への参加呼びかけはなく、今までバードウォッチングに興味を持ちながらどうしたら良いか分からなかった方々に、新聞などを通じて呼びかけます。実際にバードウォッチングを体験していただき、入会の機会に結びつけようとするものです。

「お試し入会制度」は、そのイベントに参加された方が、会費 1,000 円で6ヵ月間『しらこぼと』を購読でき、会員の立場を試すことができるという制度です。本入会につなげたいと期待しています。

本誌が会員の皆様に届くころには、イベントは終了しているはず。来月号で結果をご報告します。

●関東ブロック協議会

10月4日(土)～5日(日)、日本野鳥の会吾妻担当の関東ブロック協議会が群馬県中之条町で開催され、藤掛保司代表、小林みどり副代表、青木正俊監事の3名が出席しました。次回 2015 年度は埼玉が担当します。小林みどりを委員長とする委員会を設置し、準備を始めています。

●会員の普及活動

9月23日(火・祝)都内葛西臨海公園で開催された新ハイキングクラブ主催行事「鳥を観る 知る」第11回で、小林みどり、柴野耕一郎、藤田敏恵、星進、工藤洋三が

指導しました。

●ごめんなさいコーナー

前号本欄カレンダーの写真説明が、左右逆でした。

●会員数

11月1日現在 1,792 人。

活動と予定

●9月～10月の活動

9月26日(金)見沼たんぼ・さいたま市&市民ネットワーク「第2回みぬま秋フェス in さぎ山」実行委員会に出席。後日当会ブースに資料設置。10月18日(土)同ネットワーク写真コンクール表彰式に出席など(藤掛保司)。

10月11日(土)『しらこぼと』11月号校正(大坂幸男、小林みどり、佐久間博文、志村佐治、長嶋宏之)。12日(日)と13日(月)にも(海老原美夫)。

10月19日(日)役員会(司会:吉原早苗、2015年1月～4月の行事予定・その他)。

10月20日(月)『野鳥』誌を購読しない会員向け、『しらこぼと』11月号を郵便局から発送(海老原美夫)。

●12月の予定

12月6日(土) 研究部・編集部・普及部会。  
12月13日(土) 1月号校正(午後4時から)。  
12月20日(土) 袋づめの会(午後3時から)。  
12月21日(日) 役員会(午後4時から)。

編集後記

先月号の野鳥情報には、8月号4ページ「そろそろ タカが動き出す!」に触発されたと思われる情報が多かった。このリアクションは大変うれしい。しかし、会員の方々のフィールドノートには、まだまだ投稿されてない情報があるはず。次号でもお待ちしております。(山部)

しらこぼと 2014 年 12 月号(第 368 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)  
 発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町4  
 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
 郵便振替 00190-3-121130 http://www.wbsj-saitama.org 事務局 office@wbsj-saitama.org  
 編集部への原稿 yamazekuzoku@hotmail.com 編集部への野鳥情報 toridayori@hotmail.com  
 住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田3丁目9番23号 丸和ビル  
 (公財)日本野鳥の会会員室 TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635 gyomu@wbsj.org  
 本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断  
 転載は、かたくお断りします。 印刷 関東図書株式会社